

---

# 一つのたからもの

SABIAN

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

一つのたからもの

### 【Nコード】

N1496B

### 【作者名】

SABIAN

### 【あらすじ】

槻奈は転校の多い高校1年生。転校初日にひよんなことからある男子と出逢い、大切なものを築いていく・・・(予定)

## その存在に気づくとき(前書き)

初投稿なので至らない点もありますが、是非最後まで見てやってください  
d) > c | . . \* ( ) N

## その存在に気づくとき

誰にだって1番大切な存在があるはず……。私は今までずっと気がつくことができなかったその存在にやっと気がつくことができたんだ。

7月4日。私はまた転校した。

別にこの学校でも今までと同じように平凡な学校生活を送るのだと私は思っていた。

しかし、このときから私の人生は180度変わっていったのだ。

転校すること自体は嫌じゃないけど自己紹介をするのがめんどくさい。

・・・とか思いつつ、自己紹介をするわたし。

「櫻井楓奈です。はやくこのクラスになじめるといいなと思います。よろしくお願いします。」

何回もこんな台詞いつてきたよなあ。

すごい白々しい感じ。

クラスの人達がざわめく。

まあこんなもんだよな。

休み時間、移動教室だったので歩きなれない廊下をあるいた。

すると前から超速いスピードで走ってきた男子がいた。

『ゴツッ!』

ものすごい鈍い音をたててその男子と私の頭がぶつかった。

ホント、最悪の出逢い方。でもいま思えばその出逢いこそが大切なものに気がつく瞬間だったんだ。

その存在に気づくとき(後書き)

感想、評価などどんどんくださいっ！  
くださると本当に助かります。)。)。)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1496b/>

---

一つのたからもの

2010年12月18日14時41分発行